

安全会議 議事録

TEPCO

決定事項

・適正な工期の確保と過重労働防止に向け、本日の意見・議論を持ち帰り、各部・各企業の取り組みを検討し実施すること。

日付 : 平成30年3月15日(木)

時間 : 13:00~16:00

場所 : 大会議室2・3

主な議事

1. 防災安全部長挨拶

本日の対話は、作業安全からは少し外れているテーマ(適正な工期の確保に関わる対話)であるが、忌憚のない意見をお願いしたい。

熱中症対策について、先日計画書作成をお願いしたところであるが、熱中症は、この時期に発生しないとは限らない。WBGT値を測定して、熱中症・脱水症の防止に努めていただきたい。寒暖差の激しい時期であるが、体調管理に留意していただきたい。

2. 2017年度災害発生状況

2017年度の災害は、11/17件が熱中症と転倒・つまずき災害であった。2018年度は熱中症と転倒・つまずき災害ゼロを目指すので、各社の安全活動計画に反映していただきたい。

3. グループ対話 テーマ:「安全な作業を行うため、適正な工期の確保について考える。」
各班の「対話内容」について共有した。

4. 防災安全部長講評

対話では、発注者(東電)への要求が多く出ており、当社として取り組まなければならないと認識した。一方、元請各社も下請けに対しては発注者であり、同じような課題があるのではないかと感じた。当社と元請各社は一緒になって取り組んでいく必要がある。本日の意見・議論を持ち帰り、自分達はどうか取り組むべきか考え、実践していただきたい。

出席者

当社 13名

協力企業 52名

その他

・特になし

①「適正な工期」が確保されず安全管理がおろそかになるケース

【調査・調整不足】

- ・ 事前調査や主管G間の調整不足により、準備に時間がかかり本工事着手が遅れる。
- ・ 同一エリアの企業間の工期にズレがあり、作業の輻輳で計画工程での作業ができない。

【年度末等の工事集中】

- ・ 緊急発注であっても年度未完了を要求され工事が輻輳する。

【変更・中断】

- ・ 工期内で作業内容の変更（納品遅れ、安全対策追加等）が多い。
- ・ 許認可の遅れで工期が削られる。
- ・ 設備トラブルにより作業が中断する。
- ・ 埋設物除去等の計画外作業が発生する。
- ・ 検査日程が急に決まりその準備に追われる。

【コミュニケーションの問題】

- ・ 必要な設備の停止期間がとれない。→2交替作業を強いられる。
- ・ コスト等の理由により、要望する工法・手順が採用できない（されない）。
- ・ 工期厳守の強力な指示。
- ・ 工事の途中での東電監理員の変更によるコミュニケーション不足。

②どのようなことに配慮すればよいか

- 現場乗り込み前の準備期間（許認可申請、現場調査、関係者の調整等）
- エリア毎の干渉する工事の統括（土木、建築、電気等）
- 施工条件・仕様の明確化
- 1F特有の条件（作業時間の制約、高線量作業、装備等）
- 工事監理員と企業工事担当者間のコミュニケーション（工事内容・工程の理解等）

③どのような取り組みが必要か

- 予報発注の実施
- 年間を通した工事の平準化
- 早期発注と年度末検収の回避
- リスクを分散する組み合わせ発注（高線量作業／低線量作業等）
- エリア毎の工事マネジメント強化（エリアプロジェクトマネージャー設置、GM出席の工事調整会等）
- 発注者と受注者のコミュニケーション強化（工法・手順、工期変更協議等）
- 改善活動による無駄の排除